

1 ～未来につなぐ美しい自然、創造と交流の湖畔の里～ 安威川ダム周辺の公園の名称を募集

応募締め切りは
9月22日まで！

令和6年度にオープンする安威川ダム周辺の公園の名称を募集します。応募のあった案の中から市民投票を行い、12月中旬頃に決定する予定です。選考基準等、詳細は右図読み取りからご覧ください。



プレゼント!!

最優秀賞（1名）に **商品券 30,000 円分**

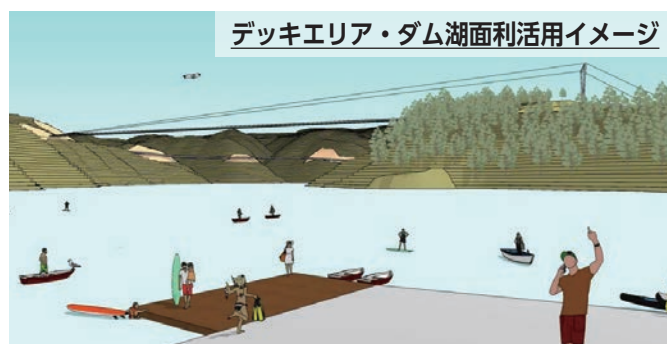
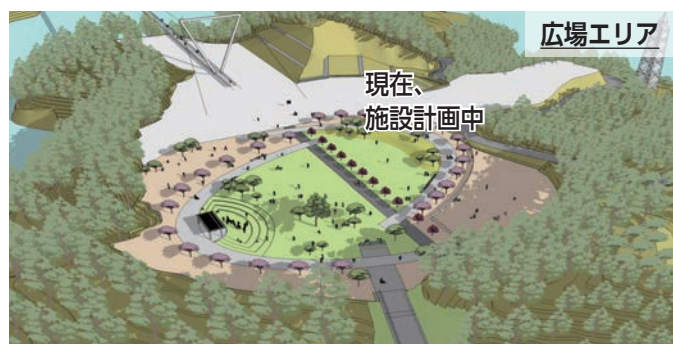
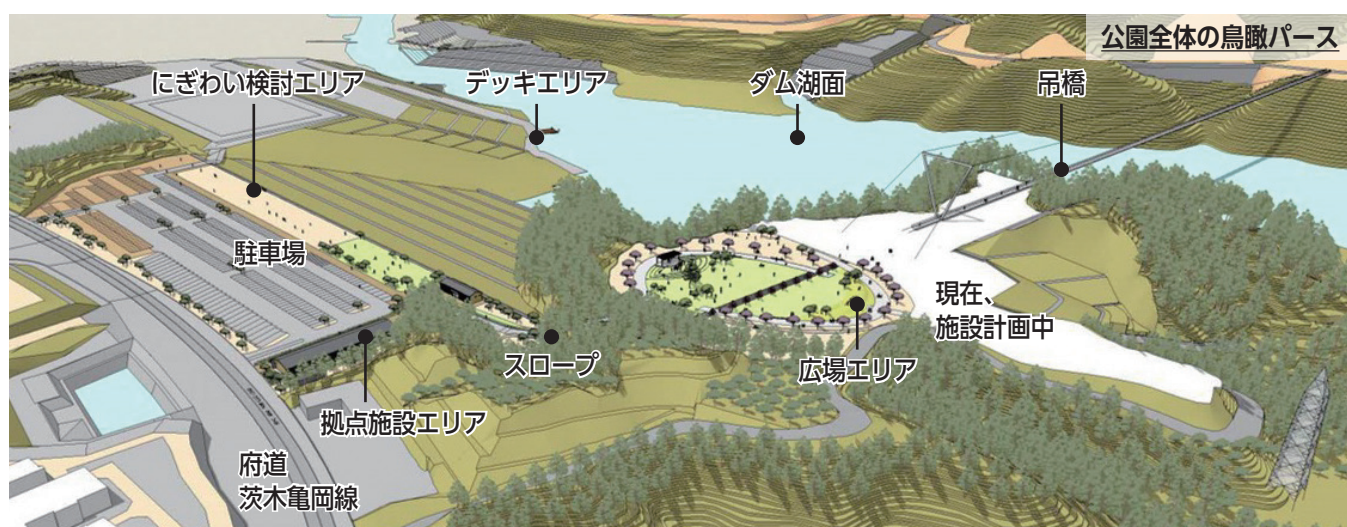
抽選で 10 名様にも **商品券 1,000 円分** プレゼント

応募方法

①下図読み取りから応募



②応募用紙（市 HP からダウンロード）か任意書式（名称とふりがな、名称の意味や理由、氏名とふりがな、郵便番号、住所、年齢、電話番号、メールアドレスを記入）を、郵送・ファックス・メール、または応募箱（市役所南館 1 階受付前等に設置）に直接、〒567-8505 北部整備推進課 ☎ 620・1609、FAX 620・1730、✉ hokubuseibi@city.ibaraki.lg.jp



※計画は現段階のもので、今後変更の可能性があります

2 まちの愛称が「イコクルいばらき」に決定 ～南目垣・東野々宮地区～

南目垣・東野々宮地区のまちの愛称に、239 件の応募・368 票の一般投票をいただき、ありがとうございました。愛称は、最も得票数が多かった「イコクルいばらき」に決定しました。考案者は、市内在住の中学生 古川 結さん（13 歳）。「市民が行きたくなるまちになってほしい」との思いを込めています。今後、イベント等でまちの愛称を活用していく予定です。詳細は右図読み取りからご覧ください。☎ 620・1660



各施設の休館日等は市 HP 等でご確認ください。

☎ 問合先、✉ メールアドレス、HP ホームページ、☎ 保一時保育あり（原則有料、詳細は事前にお問い合わせを）

 掲載しているイベントや行事等は変更・中止等の可能性があります。開催の有無等は市 HP または 図・甲でご確認ください。また、参加の際は検温やマスクの着用をお願いする場合があります。ご理解とご協力をお願いします。

3 みんなでSDGs 達成をめざしましょう 問政策企画課 ☎ 620・1605

SDGs とは、貧困、地球温暖化、虐待等のさまざまな問題を、世界中で協力して解決するために、国連で決めた 17 の目標（ゴール）です。地球規模の目標が多く、他人事と思いがちですが、例えば、「海の豊かさを守る」という目標は、海に接していない茨木市に住んでいても、マイバッグを持ち、プラスチックごみを削減することで、海洋汚染の防止につながります。一人の行動は小さなものですが、その小さな行動が積み重なり、地球規模の目標達成につながっていきます。

国や市、民間企業など、多様な主体が目標達成に向けて取り組んでいます。市民の皆さんも、一人ひとりが目標を意識し、みんなでSDGs 達成をめざしましょう。



17 の目標（ゴール）画像

こんな取組みも

① SDGs の目標を紹介
今月号から、SDGs の 17 の目標を毎月 1 つずつ、巻末 (46 ページ参照) で紹介していきます。

②取組みポスターを掲出
阪急電鉄で運行中の SDGs トレインにも、市の取組みポスターが掲出されています。乗車する際には、ぜひご覧ください。



市税・国民健康保険料・水道料金等の支払いがますます便利に !! 4 キャッシュレス納付方法を拡大

9 月 1 日から、①市税・②国民健康保険料・③水道料金・下水道等使用料の納付に、「au PAY」、「d 払い」、「J-Coin Pay」が使用できます。右下図読み取りからダウンロードサイトへリンクする市 HP にアクセスし、専用アプリをダウンロード、利用登録等をお手続きの上、ご利用ください。■コンビニ収納用バーコードがない納付書や納付期限が過ぎた納付書はご利用できません。要件・利用方法等詳細は市 HP をご覧ください。問①収納課 ☎ 620・1616、②保険年金課 ☎ 620・1631、③営業課 ☎ 620・1691



東奈良遺跡銅鐸鋳型発見 50 周年プレ事業シンポジウム 5 「銅鐸から弥生時代社会を見直す」

昭和 48 年 (1973 年) 秋に、東奈良遺跡から銅鐸の鋳型が多数発掘されました。鋳型は現在、国の重要文化財に指定され、市の至宝として知られています。発見 50 周年を迎えるにあたって、銅鐸の起源と展開、祭り等に焦点を当て、改めて鋳型の意義と評価について考えます。

時 11 月 5 日 (土)、午前 10 時～午後 5 時、所 生涯学習センターきらめきホール、定 先着 400 人、内 下表のとおり、申 9 月 10 日、午前 9 時から 10 月 22 日、午後 5 時まで、右図読み取りから申込、問 文化財資料館 ☎ 634・3433

内容	
報告	東アジアのなかの銅鐸 (国立歴史民俗博物館名誉教授 春成秀爾さん)
	銅鐸は九州で形成された (明治大学文学部教授 石川日出志さん)
	九州の青銅器生産の始まりと展開 (福岡市埋蔵文化財課主任文化財主事 常松幹雄さん)
	近畿における武器形青銅器生産 (愛媛大学ミュージアム教授 吉田 広さん)
	近畿における銅鐸生産の技術系譜 (本市学芸員)
討議	東奈良における銅鐸生産とその後の動向 (奈良文化財研究所客員研究員 難波洋三さん)
	進行 (朝日新聞編集委員 中村俊介さん)、パネリスト (上記報告者)

